

# 大工志塾 育成方針

大工志塾では、大工職人が働きながら、木造伝統構法に用いられる墨付け刻みの基本的な大工技術・技能を習得できます。

## ▶大工志塾の目指す塾生像

～3年（上級）修了時に木造建築（住宅）  
を1棟建てることできる～

技 術：伝統構法の墨付け刻みができる

人間力：チームの中での自分の役割を理解し、考えて行動ができる

志：積極的に技術の向上に努め、次世代に技術を継承していく志を持っている



## ▶育成プログラムの柱建て

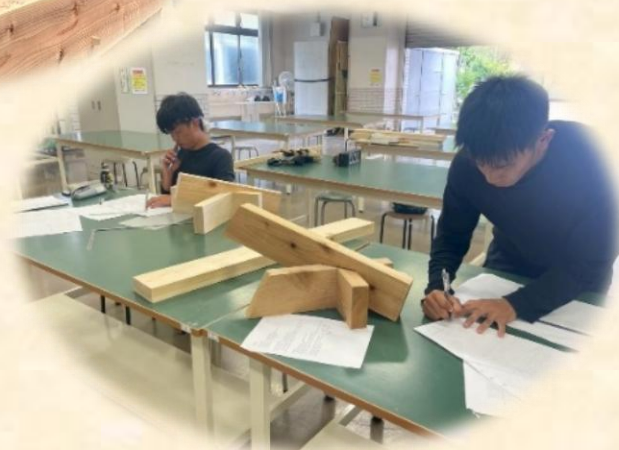
### 集合実技研修

実践力・チームワークを身に付ける



### 座学

知識を身に付ける










### 実技

技術・技能を身に付ける

## ➤育成プログラムの概要

### 1, 座学・実技

墨付け刻み	初級	墨付けの手順や基準、寸法の取り方など基礎を押さえつつ、全体を意識した軸組づくりと継手・仕口の考え方を学びます。	
	中級	屋根づくりに必要な平勾配・隅勾配の考え方、展開図や原寸図の描き方、規矩術や隅木の納まりを学びます。	
	上級	太鼓梁・登り梁の墨付けと刻みを通して、軸組全体を理解しながら板図の活用やミスを防ぐ墨付けの流れを学びます。	
木組みの架構	初級	課題図面をトレースし、平面図と軸組・骨組の関係を理解しながら、図面の読み方・描き方や表現のポイントを学びます。	
	中級	伏図・矩計図をもとに軸組模型を作成し、図面から立体的に構造をイメージする力を身につけます。	
	上級	荷重を踏まえた構造検討の流れを理解し、略図面から情報を読み取り、架構を考え図面で表現する力を身につけます。	
造作の技術	上級	造作の詳細図を読み取り実際に加工しながら、納まりのルールと自ら考えて加工図を描く力を身につけます。	

木造軸組住宅の施工	初級  中級	基礎から内装、設備まで建物全体の施工の流れを理解し、特に大工工事に影響する取り合い部分の考え方を学びます。	
木材の知識	初級	木材の性質や流通の流れを理解し、山の木が建物になるまでの過程や、木を使う社会的意義を学びます。	
山と木の話	中級	木材の性質や流通の流れを理解し、山の木が建物になるまでの過程や、木を使う社会的意義を学びます。	
家づくりとは何か	初級	家づくりの意味を文化や社会の視点から考え、大工としての仕事への向き合い方を学びます。	
日本の気候風土と住まい	上級	日本の住宅形式を例に、気候風土や社会背景と建物の関係について、理解を深めます。	
大工の道具	初級	大工道具の使い方やメンテナンスの基本を身につけ、長く使う手道具との向き合い方を学びます。	
木材の仕上げ	初級	鉋の使い方を重点的に学び、刃の研ぎ方や台の調整も含めて、木材を美しく仕上げる技術と継続的な練習方法を身につけます。	

## 2, 集合実技研修

薪棚	初級	伏図や矩計図から情報を読み取り、墨付け・刻みの基礎と軸組の組み方を自分で考えながら学べます。自分のペースで作業し、講師と相談しながら目標設定を行い、自身の実力を把握することができます。	
あずまや	中級	隅木を使った課題を通して、平勾配・隅勾配の理解を深め、屋根をつくる技術を実践的に学べます。図面から読み取り自分で考える力と、不安定な構造を安定させる木組みの考え方を身につけます。	
応急仮設住宅	上級	3年間の集大成として1棟を手刻みで造り、建物全体の構造と役割を理解しながら棟上げまでを経験できます。スピードと正確さを両立し、職人としての責任と意識を学びます。	

### ▶修了後の取り組み

大工志塾を上級まで修了すると、「大工志」の称号を授与されます。大工志とは、日本の伝統木造建築の知識と技術を兼ね備え、大工志塾修了後も会員相互の研鑽と交流を通じて成長し続ける大工技能者です。大工志の多くは、自身の技術と経験を活かし、大工志塾講師・指導棟梁として若手大工等の育成にも取り組んでいます。



勉強会・見学会等の開催



講師として若手大工等の育成